

和泉市の小中一貫教育に関する教職員アンケート 中間報告 教職員の不安続出

現在、今後の運動の参考とするために、小中一貫教育に関する教職員アンケートを実施しています。アンケートを集計してみると、教職員が施設一体型「小中一貫校建設」に対して不安を感じていることが浮き彫りになってきました。

「施設一体型」 建設は時期尚早

和泉市教育委員会は、「市内すべての小中学校で『小中一貫教育』を実施するが、形態は『施設分離型』とし、その内容等については各校区の実情に応じて実施してほしい。」と各学校に説明してきましたが、2013年2月「はつが野地区に『施設一体型』の小中一貫校を平成29年度に開校する。」と発表。市役所内の会議では「南松尾小・中も新設校に編入」「槇尾校区・富秋校区にも施設一体型一貫校建設」を検討すると発言していることも判明しました。

ある市PTA役員や学校教職員への説明は、ほとんど行われていません。市議会でも議員24名中8名3会派が、「施設一体型小中一貫校の検証は不十分であり、建設は時期尚早である。」として予算計上に反対しました。

「施設一体型」に 不安いっぱい

アンケートの中間集計を見ると、「施設一体型」小中一貫教育に対して「特に不安はない」は0%。教職員の誰もが不安を感じていることがわかります。特に、「住民や教職員の意見を聞かず、結論を急ぐことが不安である。」「体育館・グラウンド・プールなどを9学年が共有することが不安である。」が、高い割合となっていました。

一体型を計画している人は、わかっているのでしょうか。教職員の合意で進められているのか？

一貫教育を早急に進めてよいのでしょうか。今後の運動の参考とするため、できるだけ多くの教職員のご意見をお聞かせください。



特に不安は無い	0%
住民や教職員の意見を聞かず、結論を急ぐことが不安である。	76%
体育館・グラウンド・プールなどを9学年が共有することが不安である。	79%
中学生の問題行動が小学生に影響したり、広域化することが不安である。	65%
小中の行事調整(入学式・卒業式・定期試験など)が不安である。	59%
6年生が最上級生として成長しにくくなることが不安である。	68%
小学校の45分授業と中学校の50分授業を調整できるのか不安である。	59%
中学生のクラブ活動のため、学童保育などの活動が制限されるのが不安である。	41%
教師一人当たりの負担が増えることにならないか不安である。	47%
「施設一体型」小中一貫校に勤務することが不安である。	44%

組合に加入して、「教育基本条例」「評価・育成システム」をなくそう！